



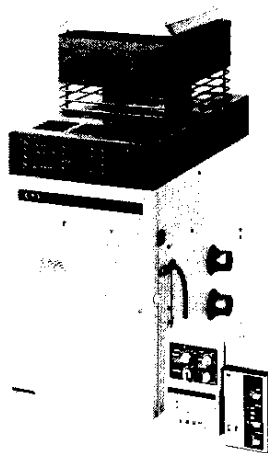
大阪ガス

ガス風呂釜〈電子コントロール比例制御方式〉
〈セントラル給湯機能付き〉

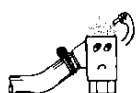
取扱説明書 31-052・053 型

保証書付

型式 GU-16RE-H2(G)-B



ガスゴム管も
ときどき点検
よいゴム管を
カッチリと



ガス器具を
お使いになつた
あとは必ず
もとコックも
閉める習慣を



空だきには十分
注意しましょう。



ガス器具は
ガスの種類にあつた
正しいものを

●ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。
なお、ご不明な点があればお買い求めの販売店にお問い合わせください。

ごあいさつ

このたびは、大阪ガスのガス風呂釜〈セントラル給湯機能付き〉を、お求めいただきまして、ありがとうございます。

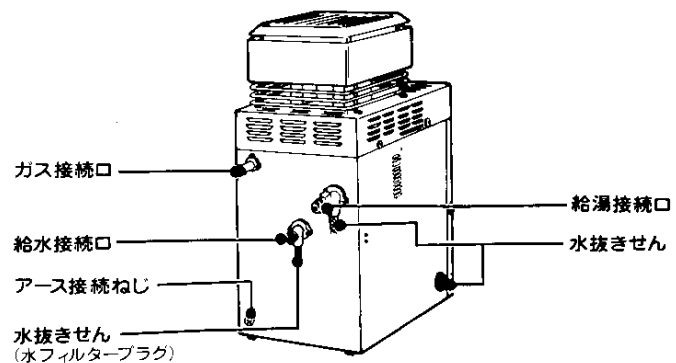
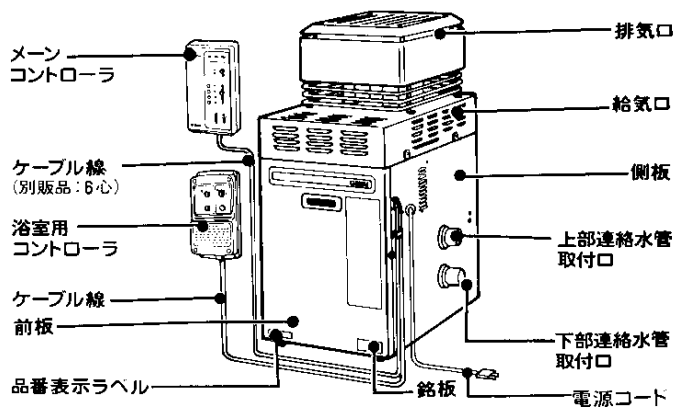
別添の保証書とともに、この「取扱説明書」を大切に保存してください。

もくじ

●各部の名称	1
●特に注意していただきたいこと	3
●器具の設置	7
●使用手順	8
●使用時のご注意	18
●凍結防止について	20
●日常の点検・手入れ	22
●故障・異常の見分け方と処置方法	24
●長期間使用しない場合	25
●アフターサービスのお申し込み	26
●寸法図と使用一覧表	27
●別売部品のご紹介	29

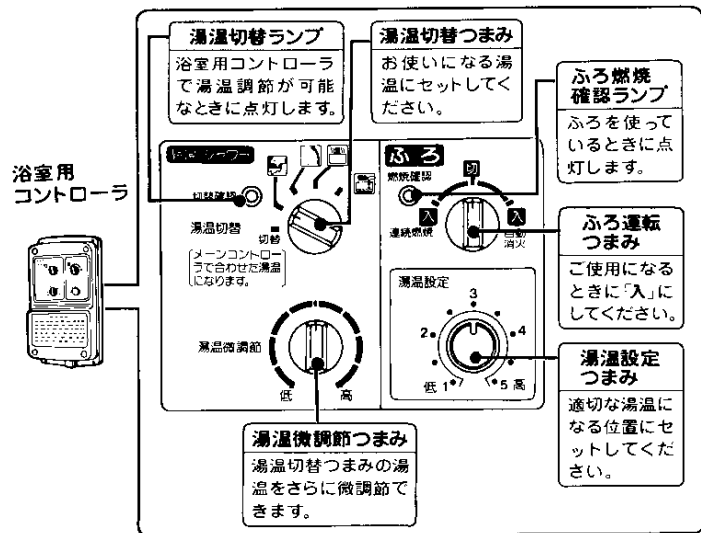
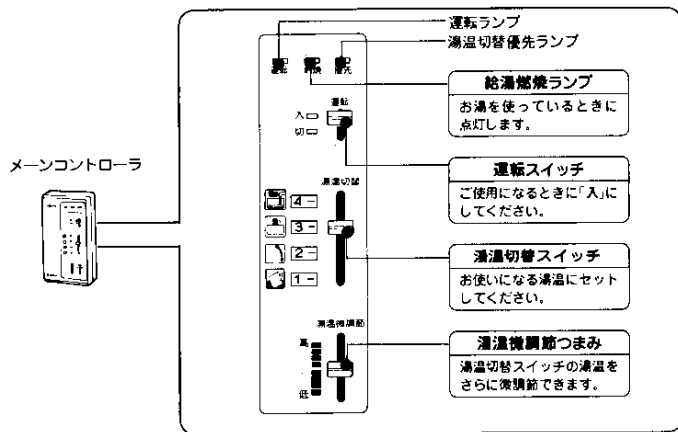
各部の名称

外觀構造



[注] 上図は、31-052型(右水管タイプ)です。31-053型(左水管タイプ)は、連絡水管および電源コードが反対側になります。

各部の名称②



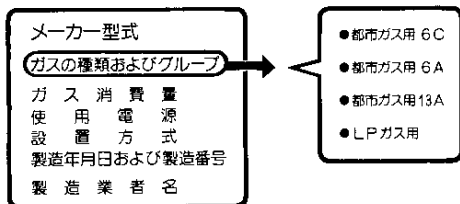
特に注意していただきたいこと

安全に正しくお使いいただくためにこの項は必ずお読みください。

使用ガスについてのご注意

- ガスの種類を確かめてください。

ガス器具本体前面下部にはってある銘板(ラベル)に表示のガスの種類と、お宅のガスが一致しているかをまず確かめてください。



- ガスの種類には、都市ガスとLPガスとがあり、都市ガスには、ガスグループの区分があります。
- 転宅されたときにも、供給ガスの種類と器具銘板のガスの種類の一致を必ず確かめてください。

使用電源についてのご注意

- ガス器具本体前面下部にはってある銘板(ラベル)に表示してある電源(電圧・周波数)以外の電源では使用しないでください。

用途についてのご注意

- 台所・シャワー・洗面などの給湯およびふろの沸き上げ、追い焚き以外の用途には使用しないでください。

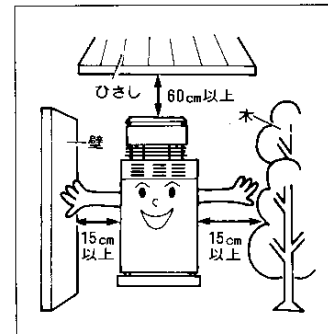
特に注意していただきたいこと②

市販の補助用具使用についてのご注意

- この器具用の付属品・補助用具以外は使用しないでください。
(不完全燃焼などの原因になります)
- 市販の湯さめ防止器、または簡易シャワーセットなどを取り付けて使用しないでください。(器具の異常過熱などの原因になります)

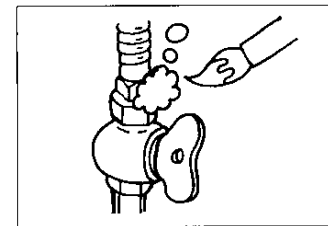
使用場所についてのご注意

- 壁、その他の可燃物から十分離れて
いる場所で使用してください。



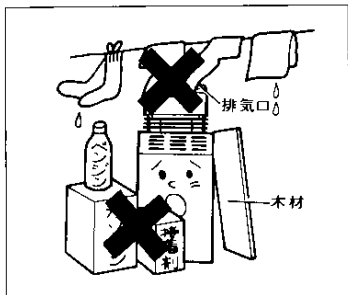
ガス漏れ予防

- 使用後は、燃焼ランプが消えたことを確かめてください。
- 長期間使用しないときは、必ず運転スイッチを切り、ガス元せんを閉めてください。
- 配管や器具との接続部からガスが漏れていないか、ときどき石けん水などで調べてください。



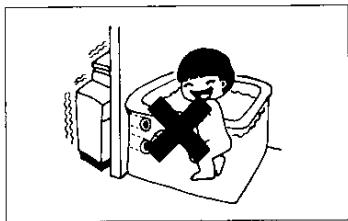
火災予防

- 器具の上や周囲には燃えやすいものを置かないでください。
特に、排気口は洗たく物などでおおわないでください。



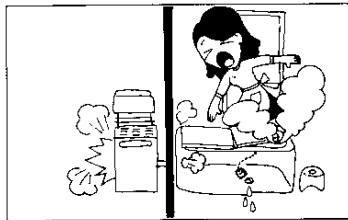
過熱防止

- ふろがまと浴そうを接続している上下連絡水管(循環パイプ)口をタオルなどでふさがないでください。



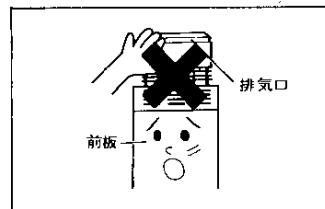
- おふろを空たきさせないようご注意ください。そのために次のことを必ず実行してください。

- ①排水せんは確実にしめてください。
- ②点火前にもう一度、水面が上部連絡口より10cm以上高くなっているか確かめてください。



火傷にも注意

- 使用中および消火直後は、前板や排気口が高温になっていますので、絶対に手を触れないでください。

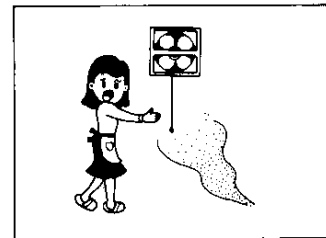


ガス事故防止

- ガス漏れに気づいたときはすぐ使用をやめ、ガス元せんを閉め、窓を開けて換気をおこない、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご連絡ください。



- 万一ガスが漏れたときは、絶対に火をつけたり、換気扇その他電気器具に触れたり(スイッチの入、切や電源プラグの抜き差しなど)しないでください。火や火花で引火し爆発事故をおこすことがあります。



凍結についてのご注意

- 冬期は、寒冷地だけでなく、暖かい地方でも急な寒波のため器具内の水が凍って、器具を破損することがあります。
詳しくは、20~21ページの「凍結防止について」をお読みください。

特に注意していただきたいこと⑥

異常時の処置

●万一、異常燃焼（メインバーナー着火時や使用中に“ゴー”と音のするような燃焼）をおこしたときや、緊急の場合には、下図の処置をし、お買い求めの販売店またはもよりの大阪ガス支社に連絡してください。

1. 給湯せんを閉める。



お湯の
使用場所

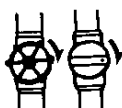
2. 運転スイッチを切る。
（浴室用コントローラは、ふろ
運転つまみを「切」にする。）



メイン
コントローラ

浴室用
コントローラ

3. 給水元せん・
ガス元せんを
閉める。



器具の
後部

日常の点検・手入れ

●日常の点検・手入れは、必ず行なってください。
（詳しくは22～23ページをお読みください）

●故障または破損したと思われる場合は、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご相談ください。不完全な修理は危険です。

器具の設置

（詳しくは工事説明書をお読みください）

●器具の設置は、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社に依頼してください。

●ご使用前に工事説明書通り正しく設置されていることを確認してください。

使用手順

点火前の準備と確認

1. 給水元せんを全開に
にしてください。



器具の
後部

3. ガス元せんを全開
にしてください。



器具の
後部

2. 給湯せんを開け、
水の出ることを確
認してから開めて
ください。



お湯の
使用場所

4. 電源プラグをコン
セントに差し込ん
でください。

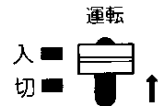


給湯の使い方

点火

① 運転スイッチを「入」にします

（運転ランプが点灯します）



② 給湯せんを開けます

●パイロットバーナーとメインバーナー
に点火し、お湯が出ます。
（点火と同時に、給湯燃焼ランプが
点灯します。）



●給湯燃焼ランプが約20秒すぎてもつかない場合は、給湯せんまたはシャワーせんを閉めてから操作をしながらおこなってください。

使用手順②

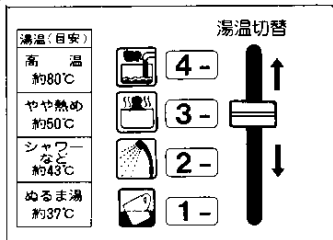
湯温調節

〈メインコントローラで湯温調節される場合〉

- 湯温切替優先ランプがついていることを確認したのち、湯温切替スイッチ、湯温微調節つまみで湯温を設定してください。湯温切替優先ランプが消えているときは湯温調節ができません。この場合は、浴室用コントローラの湯温切替つまみを「切替」の位置にしてください。

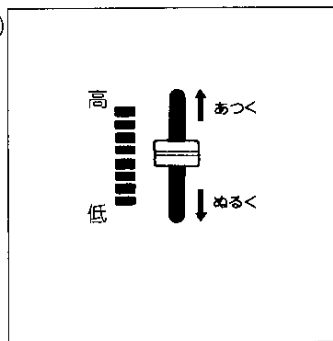
① 湯温切替スイッチを切り替えます

- お使いになる湯温にセットしてください。
(季節により多少変化することがあります。)
- 中間の位置にセットしても湯温は切り替わりません。



② 湯温微調節つまみを調節します

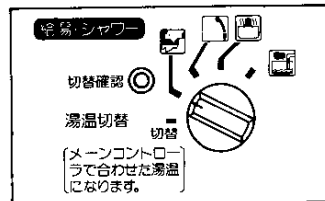
- 湯温をさらに微調節されるときに操作してください。1目盛で約1℃の温度差があります。



使用手順③

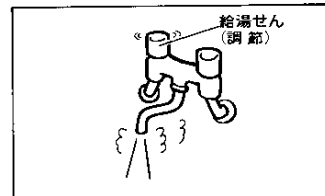
〈浴室用コントローラで湯温調節される場合〉

- 湯温切替つまみをお使いになる湯温の数字にセットし、湯温切替ランプがついていることを確認したのち、メインコントローラのとくと同様に湯温調節をおこなってください。

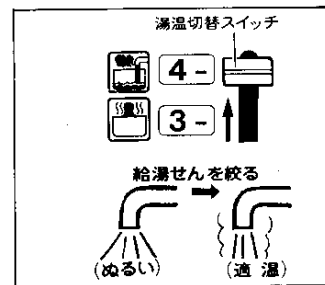


給湯

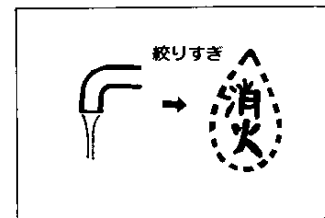
- 湯量の調節は、水道を使用される要領で給湯せんを調節してお使いください。



- 湯温切替スイッチを「4」または「3」にして湯量を多く出しますと、湯温が熱くならないことがあります。このような場合には、湯量を絞ってお使いください。



- 湯量を約3ℓ/分以下に絞りますと、メインバーナーの火が消えるようになっていきます。



使用手順④

夏期には

- 水温が30℃近くになりますと、湯温切替スイッチを「1」または「2」にセットしても湯量が少ない場合には湯温が熱くなります。このような場合は、湯量を多く出してお使いください。

〔注〕

- 給湯せんで湯量を調節しますと、水の中の空気が分離して、気ほうとなり、湯が白くなることがありますが、空気ですので何ら心配はありません。
- 2カ所でも同時使用されますと、ぬるくなったり、湯量が少なくなることがあります。特に、シャワー使用中は同時使用はやめてください。

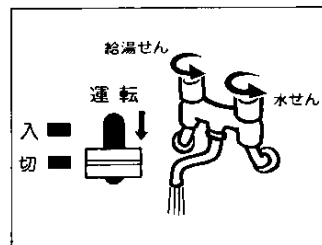
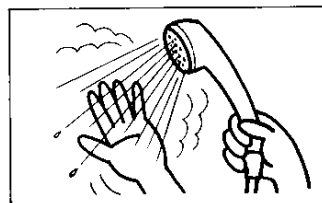
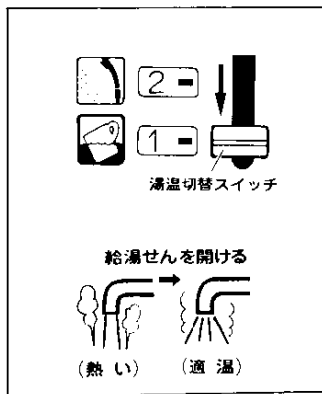
- シャワーをご使用のときは、いきなり体や頭にはかけずに、手で湯温を確認してからお使いください。

（シャワーをお使いになってお湯を止めた直後、再度お使いになるときに、湯量を急に絞ったときには、一瞬熱い湯が出ることがあります。）

ソーラシステムと接続している場合

- 夏期には入水温度が50℃を超えることがあります。50℃以下のお湯を使用されるとき（シャワー・台所・洗面・洗濯など）は、メインコントローラの運転スイッチを「切」にして、混合せんで湯温を調節してお使いください。

- 入水温度が60℃を超えますと、沸騰防止装置（入水温ハイカット）が働き自動的に燃焼をストップします。この安全装置は自動的に復帰します。（ソーラ用ハイリミットセット38-882型を取り付けている場合）



使用手順⑤

給湯湯温特性

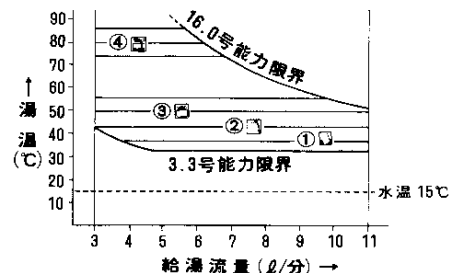
〔参考（この特性より多少異なることがあります）〕

○の中の数字は湯温切替スイッチの数字です。

下表④③……の□は器具の制御範囲内の給湯量と、湯温とを示します。給湯量は給湯せんで調節します。

□ 湯温調節可能範囲

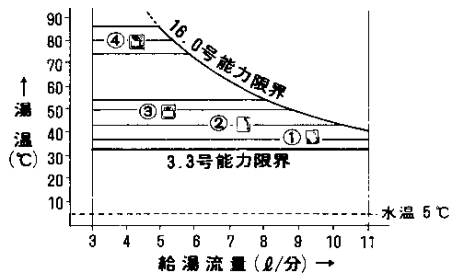
【春 期】



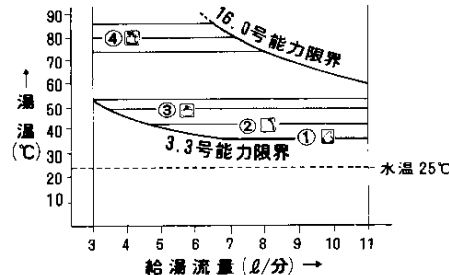
【冬 期】

〔注〕

湯温切替スイッチを、「4」にしても、10ℓ/分を給湯しますと、湯温は約45℃にしかなりません。80℃の高温の湯をご使用になりたいときには、給湯量を5.5ℓ/分以下に絞ってご使用ください。



【夏 期】

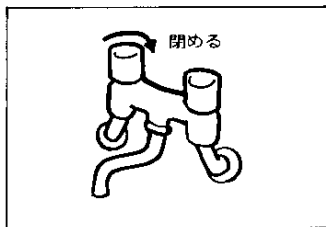


使用手順⑥

消 火

① 給湯せんを閉めます

- メインバーナーが消火し、給湯燃焼ランプが消えます。
- メインバーナーの消火後、約7分間は、パイロットバーナーのみ燃焼しています。これは、再使用時の点火をより早くするためのものです。
(約7分経過後、自動的にパイロットバーナーも消火します。)

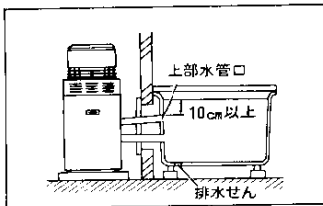


ふろの使い方

- この器具には、ふろの沸かし方に自動消火と、連続燃焼の2通りがあります。
自動消火：設定温度に沸き上がると自動的に消火します。
連続燃焼：消火操作をおこなうまで燃焼し続けます。
水から沸き上げる場合は自動消火で運転し、追い焚きする場合は連続燃焼でお使いになることをおすすめします。

① 浴そうに水(または湯)を入れます

- 排水せんがきちんと入っていることを確かめてください。
- 水(または湯)を上部水管口より10cm以上高くするまで入れてください。
- 貯水量はできるだけ、いつも同じ量にしてください。

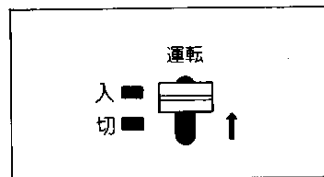


使用手順⑦

点火(自動消火の場合)

① 運転スイッチを「入」にします

- メインコントロールの運転スイッチを「入」にしてください。
(運転ランプが点灯します)



② 湯温設定つまみをセッします

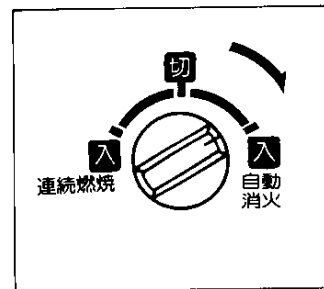
- 適切な湯温になる位置に合わせてください。
(セッ方法は15ページをお読みください)

③ ふろ運転つまみを「自動消火」にします

- 自動的にパイロットバーナーとメインバーナーに点火し、燃焼確認ランプが点灯します。

- 燃焼確認ランプが約20秒たっても点灯しないときは、ふろ運転つまみを一度「切」にもとし、再度「自動消火」に合せてください。




- 湯温設定つまみの設定温度に沸き上がると自動的に燃焼が止まり、燃焼確認ランプが消灯します。



[注]

- 入浴されるときには、ふろ運転つまみを「切」にして、必ず浴そうの湯をかきまぜて湯温を確かめてください。
- 沸き上げ途中で燃焼確認ランプが点滅しているときは、湯温検出中で異常ではありません。

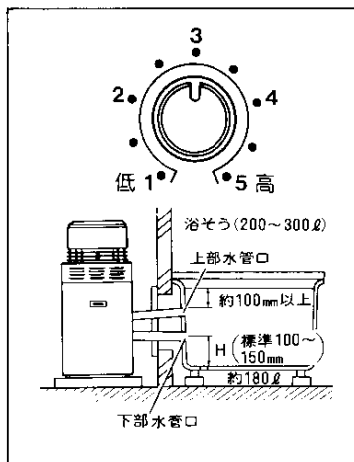
使用手順⑧

- 前日の湯を再び利用される場合や、給湯器からの落とし込み、太陽熱温水器を利用される時など、浴そう内の水温が高い場合、ふろ運転つまみを「自動消火」にしても燃焼確認ランプが点灯しないことや、点灯と点滅を繰り返して、沸き上がるまでに時間がかかることがあります。この場合は「連続燃焼」でお使いください。
- 沸き上げ中は、浴そう内の湯をかきまぜないでください。
(設定温度に沸き上がるまでに時間がかかることがあります)
- 燃焼確認ランプ消灯後、浴そうの湯をかきまぜてもぬるい場合は、ふろ運転つまみを「連続燃焼」にして追い焚きしてください。
- ふろ運転つまみを「」のままメインコントローラの運転スイッチを「」にしても点火しません。この場合は、ふろ運転つまみをいったん「」にしたあと、点火操作をおこなってください。

沸き上げ温度調節

- 沸き上がり湯温のあつい、ぬるいは湯をかきまぜたあとで確かめてください。
- 湯温設定つまみは浴そうの沸き上がり平均湯温を設定するものです。
- 湯温設定は「3」の位置で約42℃に沸き上がるように調整してありますが、水温・水量・施工状態により沸き上がり温度は多少変化します。
- 温度設定つまみの位置の目安
(約42℃に沸き上げるための目安)


下部水管位置 (H寸法)	目盛の目安
60~100mm	2
標準 100~150mm	3
150~200mm	4

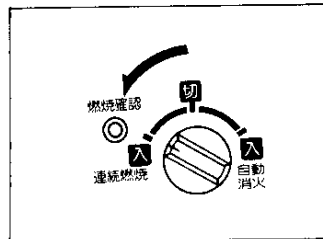


使用手順⑨


- 15ページの表の目盛で一度試運転し、熱いときは左へ、ぬるいときは右へ回し、翌日再度試してください。湯温設定は1目盛で約2~3℃の温度差があります。
- 季節により好みの温度が変わるときや、沸き上がり温度がずれる場合は、必要に応じて湯温設定つまみで調節してください。
- 浴そうの貯水量が変われば沸き上がり温度は変化しますので、毎回の貯水量はできるだけ一定にしてください。

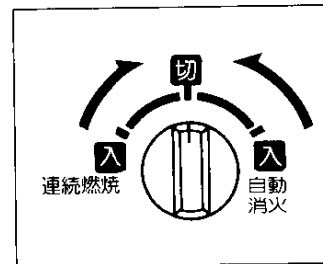
点火(連続燃焼の場合)

- ふろ運転つまみを「連続燃焼」の位置に合わせてください。パイロットバーナーとメインバーナーに点火し、燃焼確認ランプが連続点灯します。
- 燃焼確認ランプが約20秒たっても点灯しないときは、ふろ運転つまみを一度「」にし、再度「連続燃焼」の位置に合わせてください。




消火(自動消火の場合)

- 自動消火で使用の場合は、湯が設定温度になりますと、自動的にメインバーナーが消火し、燃焼確認ランプが消えます。
- 途中で消火したいときは、ふろ運転つまみを「」にしてください。
(燃焼開始後約4分間は、湯温設定つまみを「低」の方向へ回しても燃焼は止まりません。)



消火(連続燃焼の場合)

- ふろ運転つまみを「」にします。

使用手順⑩

停電時の処置

- 停電時は給湯せんを閉め、浴室用コントローラのふろ運転つまみおよびメインコントローラの運転スイッチを「切」にしてください。
- 再通電したときは、8ページ、14ページおよび6ページの「点火」に従って操作してください。

断水の場合

- 断水時は給湯せんを閉め、メインコントローラの運転スイッチを「切」にしてください。
- 再通水したときは、8ページの「点火」に従って操作してください。

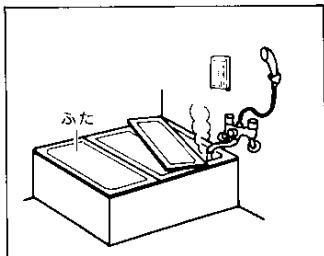
上手な使い方

こまめに湯温切替を!

- 水の混合は避け、用途に合わせ、こまめに湯温切替すると、より経済的です。
(混合水せんで湯温調節しますと、調節する間に流れる水とガスがムダになります。)

風呂への給湯・沸き上げは……

- 給湯で湯を入れられる場合は、入浴される湯温より少し熱めて給湯し、浴そうにはふたをして、放熱ロスを防いでください。
- ご家族全員が続けて入れる頃に浴そうに給湯もしくは沸き上がるようにしましょう。



使用時のご注意

安全装置が作動したときの処置方法

- 点火しなかったり、ご使用中にメインバーナーが消火したときは、24～25ページの「故障・異常の見分け方と処置方法」に従ってください。
また、次の安全装置が働いた場合には、運転スイッチを「切」にし、ガス元せん・給水元せんを閉め、ふろ運転つまみを「切」にしてからお買い求めの販売店またはもよりの大阪ガス支社にご連絡ください。

1. 運転スイッチを「切」にする。
浴室用コントローラの運転つまみを「切」にする。



メインコントローラ
浴室用コントローラ

2. 給水元せん・ガス元せんを閉める。



器具の後部

3. 購入店またはもよりの大阪ガス支社へ



連絡

立消え安全装置(熱電対式)

- パイロットバーナーの炎が消えたときは、安全装置が働いて自動的にガスが止まります。

過圧逃し弁

- 器具内の水圧が異常に上昇したときに作動し、器具内の圧力を下げて、器具の損傷を防止します。

給湯空だき安全装置(パイメタル式)

- 万一、メインバーナーの火が消えずに、湯温が異常温度上昇したときは、ガスを自動的にストップします。この安全装置は自動的に復帰します。

ふろ空だき安全装置(パイメタル式)

- 排水せんなどからの水漏れによりふろがまを空だきしたときは、熱交換器の温度上昇を感知して、ふろがまを自動的にストップします。この安全装置は自動的に復帰します。

使用時のご注意②

器体過熱防止装置(温度ヒューズ)

- 万一、器具が異常温度上昇したときは、ガスを自動的にストップします。この装置が作動した場合は、温度ヒューズの取り替えが必要です。

漏電安全装置

- 器具内の電気回路に異常がおこり、漏電などの危険が生じると、電気を自動的に停止します。この安全装置は自動復帰しません。電源プラグを持って、コンセントから抜き、再度コンセントに差し込んで異常が直らないときは、電源プラグを抜き、お求めの販売店またはもよりの大阪ガス支社にご連絡ください。

使用時の一般的な注意事項

たまった水は飲まないでください

- 器具内に長時間たまった水は飲用または調理に用いないでください。

健浴剤や洗剤についてのご注意

- 硫黄・酸・アルカリを含んだ健浴剤や洗剤は熱交換器が腐食する原因となるものがありますので、健浴剤等のご注意文をじゅうぶんご参照ください。

雷時の注意

- 激しい雷が接近したときは、使用を中止し電源プラグを抜いてください。

お出かけや、お寝みの際など、長時間使用しない場合

- 浴室用コントローラのふろ運転つまみおよびメインコントローラの運転スイッチを「切」にし、ガス元せんを閉めてください。(運転ランプが消えます)

1. ふろ運転つまみを「切」にする。



浴室用コントローラ

2. 運転スイッチを「切」にする。



メインコントローラ

3. ガス元せんを閉める。



器具の後部

凍結防止について (暖かい地域でご使用のお客様も必ずお読みください)

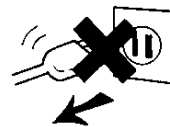


- 凍結すると器具や給湯配管が破損して、水漏れをおこしたり、器具が異常(空だきなど)をおこす危険があります。
- 凍結による修理は有料です。

凍結防止方法

①凍結予防ヒーターによる方法

- この器具には、外気温が0℃近くになるとサーモスタットの働きて自動的に器具内を保温する凍結予防ヒーターを組み込んでいます。
- 凍結予防ヒーターは電源プラグがはずれていると作動しません。絶対に電源プラグは抜かないでください。

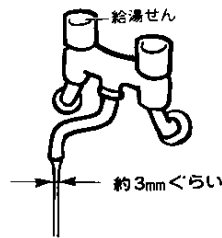


- 凍結予防ヒーターは、運転スイッチの「入・切」に関係なく作動します。
〔注〕

- 外気温が極端に低く(無風時で-15℃以下)になりますと、この凍結予防ヒーターだけでは効果ありません。このような場合は、次の②または③の方法を行ってください。
- 停電時には、凍結予防ヒーターが作動しませんので、次の②または③の方法を行ってください。

②給湯せんから水を流す方法

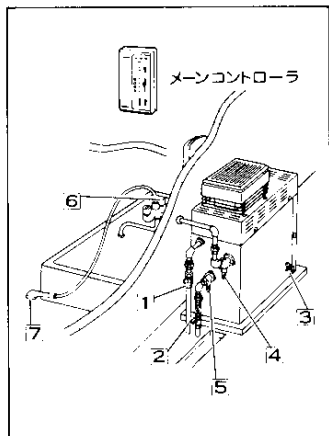
- ガス元せんを閉め、メインコントローラの運転スイッチを「切」にして、お風呂場の給湯せんを開け、1分間に約200cc(牛乳びん1本ぐらい)の水を浴そうに流し込んでください。
- 流量が不安定なことがありますので、念のため約30分後にもう一度流量をご確認ください。



③ 水抜きによる方法

次の順序でおこなってください。

- (1) メーンコントローラの運転スイッチを「切」にし、ガス元せん1を閉める。
- (2) 給水元せん2をしっかりと閉める。
- (3) 水抜きせん3・4・5を開ける。
- (4) 給湯せん6またはシャワーせん(シャワーを取り付けている場合)を全部開ける。
- (5) シャワーヘッドを床面まで下げる。
 - 給湯せん6およびシャワーヘッドと、水抜きせん3・4・5から水が抜けるのを確認してください。
 - 次にお使いになるまで、このままにしておいてください。



＜水抜き後の使用方法＞

- (1) 水抜きせん3・4・5を元通りしっかりと閉める。
- (2) ガス元せんを止めた状態およびメインコントローラの運転スイッチを「切」にした状態で給水元せん2を開け、給湯せん6およびシャワーヘッド7から水が出ることを確かめたのち、給湯せん6およびシャワーせんを閉める。
- (3) 8ページの「使用手順」に従ってお使いください。

ご注意

- もし凍結して水が出ないときは、使用をひかえ(メインコントローラの運転スイッチを「切」にした状態で)、給湯せん6を開け、水が出るまで待つてからお使いください。
- ①および③の方法では、給水・給湯配管や、バルブ類の凍結防止はできません。凍結防止のため配管には、必ず保温材を巻いてください。

凍結したとき

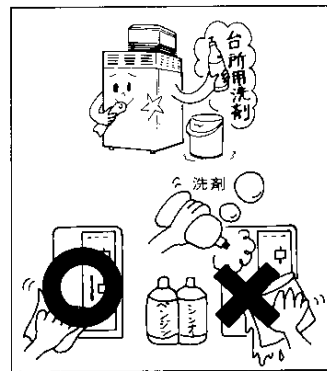
- 凍結した場合、ガス元せん・給水元せんを閉めてください。凍結したまま使われますと器具に異常が生じる場合があります。
- 凍結が解けたあと、水漏れがないのを確認のうえご使用ください。
- 器具や配管が破損しますと、高額の修理費用がかかる場合があります。(有料)

点検

- 器具および配管より水漏れ・ガス漏れはありませんか。
(ガス漏れは、配管接続部に石けん水などを付けて調べてください)
- 運転中に、器具から異常音が聞こえませんか。
- 器具の外観に異常は見られませんか。
- 器具のまわりに燃えやすいものはありませんか。

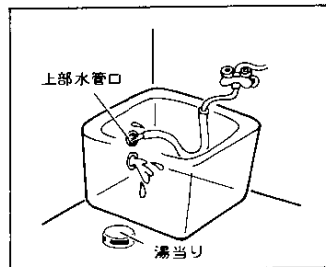
お手入れ

- 器具の表面が汚れたときは、布またはスポンジに台所用洗剤(中性洗剤)を付けてふき取ってください。シンナー・ベンジンなどではふかないでください。
 - コントローラ部の表面が汚れたときには、水を付けた布をかたく絞って、軽くふき取ってください。洗剤・シンナー・ベンジンなどは使用しないでください。
- 【注】コントローラの内部には電気部品が入っていますので、ぬらさないようにしてください。



ふる用熱交換器のお手入れ

- 上部水管口の湯当りをはずし、水道のホースの先を上下交互に入れ、水を勢いよく出して、熱交換器内を洗ってください。
- (熱交換器内には使用中の湯あかが付着します。半年に1回程度お手入れをおこなってください。)



定期点検のおすすめ

- ご使用上支障がない場合でも、不慮の事故を防ぎ、安心してより長くご使用いただくために、年1回程度の定期点検をおすすめします。お買い求めの販売店またはもよりの大阪ガス支社にご相談ください。

故障・異常の見分け方と処置方法

ご使用中に、ふだんと違った状態になったときや不都合が生じたときは、そのままお使いにならず、ただちにご使用を中止され、十分な点検をしてください。

(○=主原因、△=原因)

現象	原因										処置方法	お 客 さ ま
	運転ランプが点灯しない	給湯燃焼ランプが点灯しない	湯温切替優先ランプが点灯しない (メインコントローラ)	給湯せんに湯が出ない	使用中に水になる	高温の湯が出ない	低温の湯が出ない	使用中に湯温が極端に変動する	お湯を止めても給湯燃焼ランプが消えない	使用中に湯温が極端に変動する		
電源プラグがはずれている	○	○	○	○					○		プラグをコンセントに差し込む	*
ガス元せんの開き不十分		△		△	△	○		△	△	△	ガス元せんを全開にする	*
給湯せんの開けすぎ					△	○		△			給湯せんを絞る 同時使用をやめる	*
給湯せんの開き不足				△	△	△		△			給湯せんを全開にする	*
配管内に空気が残っている	○			△	△	△			○		点火操作を繰り返す	*
ガス圧が適切でない	低い	△		△	△	△		△	△	△	他の器具も同様の場合は、点検を依頼する (他に原因がないとき)	*
	高い	△		△	△				△			*
給水元せんの開き不十分		△		○	△	○	△				給水元せんを全開にする	*
水圧が適切でない	低い	△		○	△	○	△				点検を依頼する (他に原因がないとき)	*
	高い						△					
水フィルターの詰まり		△		△	△	△	△				詰まりを除去する	*
断水している				○							給湯使用をいったん中止する	*
凍結している				○							解凍するまで使用を中止する	*
バーナー・炎口の詰まり、空気吸込口の詰まり		△		△	△	△			△	△	点検を依頼する	*
熱交換器の目詰まり					△	△				△	点検を依頼する	*

処置方法や原因のわからないときは、お買い求めの販売店または大阪ガス支社へご連絡ください。

故障・異常の見分け方と処置方法②

現象	原因										お 客 さ ま	購 入 店 ま た は も よ り の 大 阪 ガ ス 支 社	
	運転ランプが点灯しない	給湯燃焼ランプが点灯しない	湯温切替優先ランプが点灯しない	メーンコントロール	給湯せんを開けても湯が出ない	使用中に水になる	高圧の湯が出ない	低圧の湯が出ない	使用中に湯温が極端に変動する	お湯を止めても給湯燃焼ランプが消えない			ふろが沸かない、または沸きがおそい
湯温調節が適切でない						○	○	○			「使用手順」の「湯温調節」を参照する		*
ノズル詰まり	△			△							点検を依頼する。他に原因がないとき	△	*
安全装置が作動	○			○	○						点検を依頼する(度々依頼する場合)	○	*
水流スイッチの故障		△		△	△	△	△	○	○		点検・修理・部品交換を依頼する(他に原因がないとき)		*
電気部品の故障	○	○	○	○	△	△	△	△	○	○	点検を依頼する	○	*
停電	○	○	○	○	○						再通電するまで待つ	○	*
浴室用コントローラに切り替えている			○								浴室用コントローラの湯温切替つまみを「切替」の位置にする		*
漏電安全装置の作動・故障	○	○	○	○							点検を依頼する	○	*
浴そう内の水温が高い											ふろ運転つまみを「連続燃焼」にする。「使用手順」の「ふろの使い方」を参照する。	○	*

処置方法や原因のわからないときは、お買い求めの販売店または大阪ガス支社へご連絡ください。

長期間使用しない場合

- 必ずガス元せん・給水元せんを開め、電源プラグをコンセントから抜いて、水抜きをおこなってください。
(水抜きをしないと、冬期は凍結による器具の破損のおそれがあります)

アフターサービスのお申し込み

サービスのお申し込み

- 24～25ページの「故障・異常の見分け方と処置方法」の項を見てもう一度ご確認ください。
- 確認のうえ、それでも不具合な場合、あるいはご不明な場合はご自分で修理なさらないでください。あるいはお買い求めの販売店またはもよりの大阪ガスサービスショップ、もしくは大阪ガス支社、サービスステーションにご連絡ください。なお、ご連絡いただくときは、次のことをお知らせください。
 - (1)品名……………(ガス風呂釜)
 - (2)品番……………前板左下部に貼付してあります。
 - (3)現象……………(できるだけ詳しく)
 - (4)道順……………(できるだけ詳しく)

(N)31-052
大阪ガス株式会社 07

転居される場合

ガスには都市ガス14種類およびLPガスの区分があります

- ガスの種類が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類を確認のうえ、大阪ガスサービスショップまたは大阪ガス支社にご相談ください。
この場合、調整・改造に要する費用は保証期間内でも有料となります。

保証書について

この器具には保証書がついています

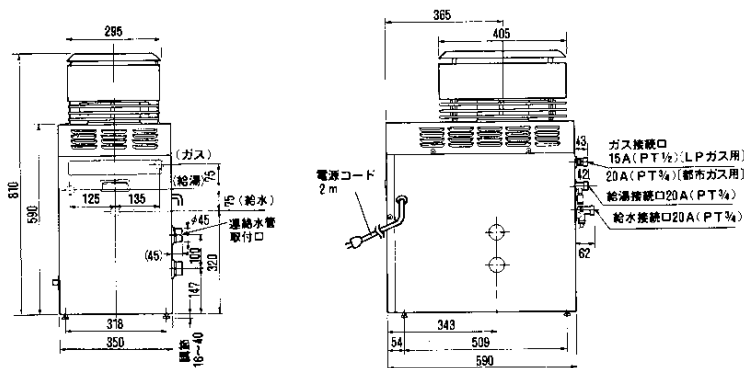
- このガス風呂釜は保証書に記載のように、器具の故障について修理いたします。詳しくは保証書をごらんください。
保証書を紛失されると、無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。

寸法図と仕様一覧表

寸法図

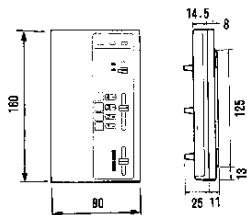
31-052

(右水管タイプ)

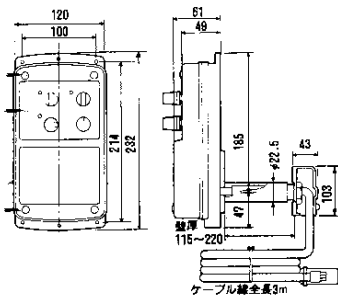


[注] 31-053(左水管タイプ)は、連絡水管および電源コードが反対側になります。

●メインコントローラ



●浴室用コントローラ



寸法図と仕様一覧表②

仕様一覧表

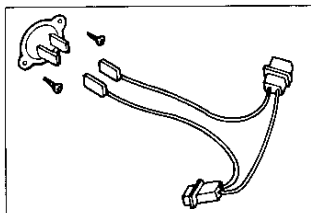
品番	31-052(右水管タイプ)		31-053(左水管タイプ)			
形式の呼び	GU-16RE-H2(G)-B					
種類	給湯方式	先止め式				
	給排気方式	RF式(自然給排気方式)				
点火方式	連続放電式(自動点火)					
水圧	使用水圧	0.8kg/cm ² 以上				
	作動水圧	0.2kg/cm ²				
外形寸法	本体	高さ826mm×幅350mm×奥行590mm				
	メインコントローラ	高さ160mm×幅90mm×奥行36mm				
	浴室用コントローラ	高さ232mm×幅120mm×奥行75mm				
重量	本体	3.4kg				
	メインコントローラ	1.6kg				
	浴室用コントローラ	1.2kg				
接続	ガス	都市ガス用20A(PT $\frac{3}{4}$)・LPガス用15A(PT $\frac{1}{2}$)				
	給水	20A(PT $\frac{3}{4}$)				
	給湯	20A(PT $\frac{3}{4}$)				
電気関係	電源	本体: AC100V 50/60Hz				
	消費電力	258W(最大燃焼時38W+凍結予防ヒータ220W)				
	電源コードの長さ	2m				
湯温制御方式	電子式ガス比例制御方式					
基準浴槽	1人~2人用					
安全装置	立消入安全装置・過圧逃し弁・空たき安全装置(ふろ)・空たき安全装置(給湯)・器体過熱防止装置・凍結予防ヒータ・漏電安全装置					
付属品	メインコントローラ(一式)・浴室用コントローラ(一式)・連絡ゴム管(2コ)・締付バンド(4本)・PYプラグ(4コ)・銅管継手袋ナット(2コ)					
別版品	ソーラ用ハイリミットセット・配線ケーブル					
項目	使用ガスクループ			LPガス用	単位	
	6C	6A	13A			
ガス消費量	給湯	最大	30100	30100	30100	2.51
		最小	6500	6500	6500	0.54
	ふろがま	最大	10000	10000	10000	0.83
		同時使用	37100	37100	37100	3.25
出湯量 (動水圧: 1kg/cm ² のとき)	水温+25℃	最大	(16.0)	(16.0)	(16.0)	(16.0)
		最小	(3.3)	(3.3)	(3.3)	(3.3)
	水温+40℃	最大	10.0	10.0	10.0	10.0
		最小	—	—	—	—

出湯量の()内の数値は相当出湯能力です。

別売部品のご紹介

ソーラ用ハイリミットセット (88・882型)

●31-052・31-053をソーラシステムとしてお使いいただくときに改装するセットです。



おねがい

ガスくさいときはお部屋の元せんを開め、窓を全開にしてから(火気に注意して)、大阪ガス支社・サービスステーションにご連絡ください。

本社ガスビルサービスセンター・支社所在地および電話番号

本社ガスビルサービスセンター	☎541 大阪市東区平野町5丁目1	☎大阪 06 (202)2221
南支社	☎557 大阪市西成区玉出東2丁目3番41号	☎大阪 06 (652)0001
北支社	☎532 大阪市淀川区十三本町3丁目6番35号	☎大阪 06 (301)1251
堺支社	☎590 堺市住吉橋町2丁目2番19号	☎堺 0722 (38)1131
北摂支社	☎569 高槻市藤の里町3番8号	☎高槻 0726 (71)0361
阪神支社	☎662 西宮市和上町4番11号	☎西宮 0798 (26)3101
東園支社	☎578 東大阪市堀菜2丁目3番17号	☎河内 0729 (62)1131
京阪支社	☎573 枚方市西田宮町1番17号	☎枚方 0720 (41)1251
神戸支社	☎650 神戸市中央区相生町5丁目13番10号	☎神戸 078 (576)5231
京都支社	☎604 京都市中京区扁丸御池船塀町355	☎京都 075 (231)8151
奈良支社	☎631 奈良市学園北2丁目4番1号	☎奈良 0742 (44)1111
和歌山支社	☎640 和歌山市本町1丁目1-4	☎和歌山 0734 (31)2481
姫路支社	☎670 姫路市牟婁町4丁目8	☎姫路 0792 (65)2221
東播支社	☎675 加古川市加古川町薬津23-1	☎加古川 0794 (21)1801
豊岡支社	☎668 豊岡市三坂町6丁目57番地	☎豊岡 07962 (3)2221
湖南支社	☎525 草津市追分町字飛廻680の1	☎草津 0775 (62)5311
彦根支社	☎522 彦根市大東町12-11	☎彦根 0749 (22)3131
長浜営業所	☎526 長浜市南呉服町3番4号	☎長浜 07496 (62)7171

その他当社サービスステーション、およびサービスショップ

大阪ガス株式会社